

1 4 森林の多面的機能の維持・発揮及び森林整備対策の充実について

(農林水産省)

提案の要旨

公的関与による森林の適正な管理

- ア 地球温暖化防止等の推進のための森林整備の拡充
 - イ 森林整備法人等に対する支援強化
 - ウ 森林整備・管理のための新たな財源確保策の導入
- 緑資源幹線林道事業の推進

現状及び課題

【現 状】

本県においては、森林の重視すべき機能の区分に応じて効率的・効果的な森林整備の推進に努めてきたが、林業を巡る厳しい状況の下、松くい虫被害跡地や間伐等の未実施林など管理不十分な森林が依然として存在している。このため本県では平成19年度から「ひろしまの森づくり県民税」を導入し、これを財源として管理不十分な森林の整備等を推進する新たな対策に取り組むこととしている。また、森林整備法人や市町等が整備・管理する森林についても、大半が育成途上にあり、厳しい財政事情の下、適切な森林整備が推進し難い状況にある。

本県の中国山地において、緑資源幹線林道・中国山地(山陽)ルートは、豊かな森林資源に恵まれたこれら地域の森林整備の促進や林業の活性化等に重要な役割を担う基盤施設であり、その早期完成が地元を始めとして周囲からも強く望まれている。

【課 題】

多様な森林づくりを着実に推進するためには、公的関与を一層強め、より積極的な森林整備を実施するとともに、森林整備法人が公的機関としての役割を引き続き担っていくため、累増する借入金の重圧を緩和し、経営基盤を強化することが必要である。

また、自治体の取組には限界があることから、財源支援措置の強化が必要である。

緑資源幹線林道は、地域の骨格となる基幹林道であり、全線の早期完成が求められているが、本県の緑資源幹線林道整備の進捗率は現在70%(中国山地全線進捗率77%)に止まっており、既着工区間の早期完成と未着工区間の早期着手が望まれる。

これまでの取組状況及び前年度提案結果

【取組状況】

平成14年6月 地球温暖化防止に貢献する森林県連合から共同アピール

平成14年7月 地球温暖化防止に貢献する森林県連合から緊急政策提案

平成17年4月 平成17年度都道府県主務部長政策提案会(森林吸収源対策の着実な推進について)

緑資源幹線林道の整備状況 全体計画延長 144 km 実施済延長 100.2 km 進捗率 69.7 %

【前年度提案結果】

- ・森林整備事業(民有林)(全国枠国費) 61,971百万円(対前年度比90.0%)
- ・緑資源幹線林道事業(全国枠国費) 11,171百万円(対前年度比95.5%)

提案の内容

公的関与による森林の適正な管理を行うこと

ア 地球温暖化防止等の推進のための森林整備の更なる拡充を図ること

地球温暖化防止等の公益的機能を持続的に発揮するため、山火事跡地等の植林や育成途上にある森林の間伐・保育，長伐期施業・複層林施業等による多様な森林づくりに対し，公的関与の一層の強化を前提に，治山事業及び森林整備事業に係る財源を確保し，森林整備の更なる拡充を図ること。

イ 森林整備法人等に対する経営改善のための対策強化を図ること

森林整備法人等は累増する長期債務を抱え，困難な経営状況にあることから，抜本的な経営改善に必要な対策強化を図ること。

ウ 森林整備・管理のための新たな財源確保策の導入

森林の果たす公益的機能や森林管理に果たす地域の役割の重要性等を踏まえ，森林の整備・管理のために必要な新たな財源確保策の導入により，社会全体で森林整備を支えるシステムの構築を図るため，関係省庁との連携の下，森林整備のための安定的な財源確保について積極的な取組みを図ること。

緑資源幹線林道 「比和・新庄線」「大朝・鹿野線」「高尾・小坂線」の整備を推進すること

本県の中山間地域における森林整備の推進により森林の各種機能の維持発揮を図るとともに，林業など地域産業の振興を図る必要がある。